

事業所名

ここいろスペース

支援プログラム（児発）

作成日

R7 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		子どもの「やってみたい」「おもしろい！」という気持ちを尊重し、安心してチャレンジできる環境を整える					
支援方針		・子どもが自分のペースで自由に発想し、興味関心に合わせた遊びや活動を展開できるよう環境や空間の整備をする。 ・「どんな遊びが好き？」「苦手な感覚や動きは？」などを日常の様子から把握し、無理のない目標とステップを設定する。 ・保護者、家族の想いや暮らしの状況を理解し、連携しながら子どもと家庭をサポートする。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・送迎時や活動中など子どもの様子を観察し、体調の変化が見られた際は指導員が声をかけ話を聞く。視覚補助や表現しやすいツールを用いながら体調を伝えられる仕組みを整える。 ・おやつ作りやお弁当作り等のプログラムを通して、五感を使った食体験を提供する。また、食材を洗う・ちぎる・混ぜるなど様々な工程を用意し、自発的な参加を促す。 ・地域の商店でおやつや文房具などを購入する機会を設ける。買い物の流れや予算内での購入品の選定、店員とのやりとり等を学ぶ。					
	運動・感覚	・マットや平均台、トランポリンを使い、楽しく体幹を鍛える。転倒等のリスクに備えスタッフがそばで見守りながら、体を動かす楽しさを感じられるようにサポートする。 ・外部専門講師（理学療法士）による発達特性や身体バランスの評価をもとに、一人ひとりに合った運動メニューを取り入れている。 ・小麦粉粘土、寒天、泡遊びなど、子どもが興味を持ちやすい素材を用い、触ったりこねたりして感触を楽しむ。苦手な感覚は少しずつ触れられるように配慮する。					
	認知・行動	・取り組む課題を写真カードやイラスト、現物で提示し、見通しを持って活動に参加できるように工夫を行う。 ・ものの形や大きさ、重さ、色、音の変化、数、時間、空間など、生活に必要な基本的な考え方を身につけられるように遊びを通して理解を促す。 ・状況把握、判断が適切に行えるよう、ビジョントレーニングやボードゲーム、ルールのある運動遊び等を取り入れる。					
	言語 コミュニケーション	・それぞれの気持ちを代弁し、感情と言葉、場面と言葉をつなげられるようにサポートする。 ・ごっこ遊びや手遊び歌、おままごなどを通して楽しみながら自然に語彙を増やす。 ・非言語コミュニケーションも使いながら、人と関わる楽しさを感じられるように支援する。					
	人間関係 社会性	・一人ひとりの様子や気持ちに丁寧に寄り添い、安心して人と関われる土台をつくる。 ・模倣遊びや見立て遊び、感覚遊び、運動遊びなど様々な遊びを展開しながら経験値を増やし、興味関心の幅を広げる。 ・遊びの中で子ども同士が関われるきっかけをつくり、人と関わる楽しさを積み重ねていく。					
家族支援		・日々の活動をwebシステムやLINEを使って共有する。 ・定期的に保護者面談を行い、子どもの成長と一緒に感じたり、困り事の相談を受けたりする。				移行支援	・進学や就労に向けた準備や関係機関との連携を行う。 ・保育園等を訪問し、情報共有や相談援助を行う。
地域支援・地域連携		こども家庭センター、保育園、学校、保健センター、医療機関、相談支援事業所等と積極的に連携し、情報共有・専門的助言を受けながら支援を行う。				職員の質の向上	・研修や事例検討会を通して必要な知識とスキルを学ぶ。 ・資格取得支援を行う。
主な行事等		季節ごとの行事（進級パーティー、クリスマス会、遠足、卒業お別れ会など） 祝日イベント（山歩き、工場見学、電車に乗って外出など）					